

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年2月29日

計画の名称	1 兵庫 安全・安心の地域づくり		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	兵庫県、三田市、明石市、赤穂市、川西市、芦屋市、南あわじ市、加東市
計画の目標			

防災上危険な密集市街地、都市基盤が脆弱で整備の必要な市街地及び防災性の向上が必要とされる市街地等において、都市基盤の整備を行い、「密集市街地の解消」「スプロール市街地の改善」等、土地の有効利用及び都市機能の更新を図るとともに、防災施設を整備することにより、災害に強い安全・安心で快適な市街地整備を目指す。

計画の成果目標（定量的指標）

- 以下に掲げる4つの定量的指標の目標値を総合的に達成することにより、災害に強い安全・安心で快適な市街地整備を目指す。
- 三田市、明石市市街地再開発事業地区内における耐震化率を7%から38%に向上
 - 川西市、赤穂市都市再生土地区画整理事業地区内の安全な敷地（幅員4m以上の道路に接する宅地及び公共用地）面積率を28%から50%に上昇させる。
 - 南あわじ市福良地区、丸山地区における一時避難場所への避難時間を30分から10分に短縮
 - 芦屋市のJ R芦屋駅南地区で、地区再生計画を作成する。

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
・三田市、明石市市街地再開発事業地区内の耐震化率を測定する。	7%	—	38%	
・川西市、赤穂市都市再生土地区画整理事業地区内の安全な敷地（幅員4m以上の道路に接する宅地及び公共用地）面積率を測定する。	28%	33%	50%	
・南あわじ市福良地区、丸山地区における一時避難場所への避難時間を測定する。	30分	10分	10分	
・芦屋市のJ R芦屋駅南地区で、地区再生計画を作成する。	0%	0%	100%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	10,359百万円	A	10,244百万円	B	0百万円	C	115百万円
-------	---------------	-----------	---	-----------	---	------	---	--------

効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	1.1%
---------------------------	------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
兵庫県において各交付団体から目標の達成状況やその要因を確認・とりまとめを行い事後評価を実施	平成28年2月末
	公表の方法
	ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 基幹事業												全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	再開発	一般	兵庫県・三田市	間接	三田駅前Bブロック地区市街地再開発組合			三田駅前Bブロック地区第一種市街地再開発事業	商業、共同住宅、高齢者支援施設、駐車場等 0.9ha	三田市						989	
1-A-2	再開発	一般	兵庫県・明石市	間接	明石駅前南地区市街地再開発組合			明石駅前南地区第一種市街地再開発事業	商業、共同住宅、公共施設、駐車場等 2.2ha	明石市						8,340	
1-A-3	都再区画	一般	赤穂市	間接	赤穂市野中・砂子土地区画整理組合			野中・砂子地区都市再生土地区画整理事業	都市再生土地区画整理 45.2ha	赤穂市						134	
1-A-4	都再区画	一般	川西市	直接				中央北地区都市再生土地区画整理事業	都市再生土地区画整理 22.3ha	川西市						707	
1-A-8	防災	一般	南あわじ市	直接				南あわじ市 南あわじ市地区 都市防災総合推進事業	避難路	南あわじ市						62	
1-A-12	再開発	一般	芦屋市	直接				J R芦屋駅南地区都市再開発支援事業	地区再生計画 3.4ha	芦屋市						12	
小計（道路事業）																10,244	

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
																0	
合計																0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	活動支援	一般	川西市	直接		川西市	公民連携型まちづくり支援事業	協会の運営支援、意向調査等	川西市						10	
1-C-2	活動支援	一般	川西市	直接		川西市	都市施設検討調査事業	公園、遊歩道等のワークショップ開催等	川西市						4	
1-C-4	施設整備	一般	川西市	直接		川西市	せせらぎ遊歩道整備事業	せせらぎ遊歩道整備 L=386m W=16m	川西市						101	
合計													115			

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
1-C-1	都市再生土地地区画整理事業(A-4)実施に合わせ、地区内権利者を対象に、合意形成、まちづくりへの参画意識を醸成し、快適で安心な魅力ある中心市街地形成を図ることにより、事業のより効果的な推進が期待できる。															
1-C-2	都市再生土地地区画整理事業(A-4)実施に合わせ、全市民を対象に、住民参加により、公共空間を有効に活用し、住民ニーズにあった魅力ある都市施設を創出することにより、市民利用の促進等の効果を図る。															
1-C-4	都市再生土地地区画整理事業(A-4)実施に合わせ、利用者が憩える、せせらぎを有する歩行者道を整備することにより、魅力ある都市空間を創造し、安心で快適な市街地整備を行う。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 市街地再開発事業の進捗に伴い、耐震性を有していない建物及び敷地内狭隘通路、非接道建物が解消されたことで、災害発生時等における安全性が向上した。 土地地区画整理事業の進捗に伴い、安全な敷地の面積率が向上した。 南あわじ市道福良241号線（福良地区）及び秋葉道2号線（丸山地区）の避難路整備を行った結果、一時避難場所への避難時間が30分から10分に短縮された。 芦屋市のJ R芦屋駅南地区において地区再生計画を作成したことにより、地区の課題や地元住民の意向を把握し、地区の整備の基本方針が取りまとめることができ、地元住民のまちづくり事業実施に向けた機運が高まった。
--------------------------------	---

II 定量的指標の達成状況	指標①（市街地再開発事業地区内の耐震化率）	最終目標値	38%	目標値と実績値に差が出た要因	関係権利者との補償交渉や、設計の見直し等に時間を要し、予定どおり事業が進捗しなかったため。
		最終実績値	22%		
	指標②（土地地区画整理事業地区内の安全な敷地面積率）	最終目標値	50%	目標値と実績値に差が出た要因	地元の積極的な協力が得られたことや、仮換地指定が円滑に進んだことにより、目標を上回る進捗で工事が進んだため。
		最終実績値	70%		
	指標③（一時避難場所への避難時間）	最終目標値	10分	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	10分		
	指標④（地区再生計画の作成）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	100%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	
--	--

3. 特記事項（今後の方針等）

- 市街地再開発事業を実施中の地区においては、早期の完成に向けて事業を進めることで、耐震化率を高めるとともにまちのにぎわい創出に努める。
- 野中・砂子地区都市再生土地地区画整理事業及び中央北地区都市再生土地地区画整理事業は継続して安全な敷地の面積率の向上を図る。
- 芦屋市においては、作成した地区再生計画に基づき、市街地再開発事業の実現に向けて、地元住民や関係機関との協議・調整を行う。

(参考図面)

